

所属	心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	修了年度	2024 年度
氏名	上條凜	指導教員 (主査)	杉本希映教授

論文題目	女子大学生の認知する養育態度が Instagram 投稿の承認欲求と 瘦身理想の内在化を介してダイエット行動に与える影響
------	---

本文概要

【問題と目的】現代は「痩せていることがよい」という価値観が多くの人に根付いており、過度なダイエットをする女性が増えている（中井，2006）。また，メディアによる情報はボディイメージの歪みを悪化させることや，やせ願望に影響を与える可能性があることが示されている（前川，2005；Hogan & Strasburger, 2008）このように，見た目に関する社会的な基準を自己の価値観や理想として取り込むことは「瘦身理想の内在化」と定義されている（Stice et al., 1994）。摂食症との関連が検討されている個人特性としては，自己呈示を動機づける承認欲求の 2 側面である賞賛獲得欲求と拒否回避欲求が挙げられている。これらはどちらも容姿へのこだわりに影響することがわかっている（鈴木，2012；浦上，2013）。承認欲求の高さには親の養育態度が関連しているという指摘もあり，親の過干渉的または受容的な養育態度は子どもの承認欲求の増加を介して不登校傾向に影響を与えることが明らかになっている（堀・長谷川，2018）。一方，摂食症の研究においては，両親の協調的な養育は摂食症の心理的特徴である対人不安や成熟恐怖の程度を軽減することがわかっている（西川，2014）。このように，先行研究においては家族環境と摂食症の心理的特徴の関連や，現代の SNS 利用が摂食症傾向に与える影響などについて示唆されてきた。しかし摂食症の研究において，環境要因である家族関係と承認欲求との関連について検討したものは少ない。本研究では，養育態度の認知，Instagram 投稿における承認欲求，瘦身理想の内在化，およびダイエット行動の関連を共分散構造分析により検討することを目的とする。

【方法】Instagram を利用したことがある女子大学生 281 名を対象に，インターネット上で質問紙調査を実施した（平均年齢 19.77 歳， $SD=0.99$ ）。調査内容は，年齢，母親の養育態度に関する質問項目（小高，2017），Instagram 投稿における承認欲求尺度（Kamijo & Asano，2024），日本語版 SATAQ-3R（浦上他，2015）全 29 項目のうち 3 因子 25 項目，ダイエット行動尺度（松本他，1997）であった。

【結果と考察】共分散構造分析の結果，養育者からの養育態度を受容的または統制的だと認知することは，Instagram を投稿する際の賞賛獲得欲求と拒否回避欲求を高めていた。養育者からの養育態度を受容的だと認知することは，他者からの批判を恐れて不安になるようなマイナスな拒否回避欲求ではなく，ネットリテラシーとして相手の否定的な反応に注意するような，健康的な拒否回避の欲求も高めている可能性が考えられる。次に，Instagram 投稿における賞賛獲得欲求と拒否回避欲求は瘦身理想の内在化に影響を及ぼしていた。拒否回避欲求の方が瘦身理想の内在化への影響力が強いことが示されたが，その要因としては，拒否回避欲求と瘦身理想の内在化はどちらも他者に焦点が置かれている概念であること，賞賛獲得欲求因子に比べて拒否回避欲求因子の各項目の平均点の方が高く，Instagram 上では拒否回避欲求がより多くの人が持ちやすい欲求であることなどが考えられた。最後に，瘦身理想の内在化のうち，メディアによる情報の内在化・自己との比較と，メディアによるプレッシャーの認知はダイエット行動に影響を与えていた。一方，メディアによる情報の重要性の認知はダイエット行動に影響を及ぼしていなかった。現代の若者は情報収集のために SNS を利用している割合が高いとされているが，SATAQ-3R で尋ねている内在化の対象に SNS は含まれていなかった。テレビや雑誌から発信される情報を重要な情報だと認知することは，現代の若者においてはあまりない可能性がある。本研究の結果は，SNS やメディアの利用という観点から，摂食症の予防的介入の一助となると考えられる。